

上島町

「島ツーリズムの会」分科会

「瀬戸の小島をまるごと体感」



島ツーリズムの会
代表
村上 律子

島ツーリズムの会とは

上島町は、平成16年に4ヶ町村の大小25の島からなる全国でも珍しい島同士の合併で誕生しました。愛媛大会の分科会会場は、そのうちの弓削島、岩城島です。



岩城港

旧弓削町において地域資源を活かしたまちづくりの施策のもと、グリーン・ツーリズム、ブルー・ツーリズム等の推進を図り、これらの活動拠点として離島体験交流施設「せとうち交流館」が整備されました。これを機に、島の16グループで構成する「おいでんさいグループ」と元気なおじさんたちの木工グループ「愛木会」とで「島

ツーリズムの会」が結成されました。

島ツーリズムの会では、島の資源を活かして海藻押し葉、漂流アート、魚のおろし方、藻塩づくり、摘み菜ウオッチング、木工体験など、これまで磯や野山、施設を使ったツーリズムの推進をしてきました。

また、町村合併を機に「おいでんさいグループ」が、都会に向けて宅配便を手がけたこともあり、これまで別々に活動していた生名、岩城の各種団体との連携、交流が密になっていったことが成果として挙げられます。

そして、もう一つの分科会会場となっている「青いレモンの島」岩城は、高品



弓削港



レモン懐石をいただく異国の人

質の柑橘栽培を目指した農業のまちづくりをしてきました。その結果、レモンは、需要に生産が追いつかないほどですし、多品種の柑橘栽培も定着してきています。

そのような中

で、特区による規制緩和で立ち上げた農家レストラン「でべそおばさんの店」は、



ヒジキの漁場



島上陸後は、タラソテラピーの原理を取り入れた海水浴施設「潮湯」の見学や入浴、海藻押し葉づくりを



海水浴施設「潮湯（しおのゆ）」

弓削島へは、全体会場宇和島市からバスで4時間ほどかけて、しまなみ海道を通って、日本のエーゲ海と呼ばれる素晴らしい多島海美の眺望を満喫しつつ、広島県尾道市経由で来ていただきます。島上陸後は、タラソテラピーの原理を取り入れた海水浴施設「潮湯」の見学や入浴、海藻押し葉づくりを

「二流の田舎」を目指して島づくりを実践している仲間たちです。全国から来られる多くの仲間たちとの交流を今から楽しみにしています。人の輪が波紋のごとく広がるよう願いつつ、「来てよかった。」と思っただけの研修、交流会を心がけています。必ずや田舎暮らし、島暮らしの良さを感じていただけるはずですよ。



摘み菜料理

分科会では

レモンづくしの懐石料理を提供する珍しさが受け、多くの観光客が訪れています。また、Ｉターンの就農受け入れ相談、農業の実地指導等を目的に立ち上ったNPO法人「岩城農村塾」は、Ｉターン者が核となり活動中です。この他にも、島ツーリズムの会には、かんきつ類でアイスクリームやジャムを作っている農業女性グループなども参画しており、町内のまちづくりグループ、グループ、団体が連携しながら、地域資源を活かしたまちづくりを目指しています。

体験していただきます。また、摘み菜ウオッチング・摘み菜茶づくり体験も用意しています。交流会では、「おいでんさいグループ」の手による島の魚介類や郷土料理、摘み菜料理等、島の味を堪能しつつ、町内の地域づくりグループとの交流を図っていただきます。数種の体験交流メニューと特産品も用意しますので、島をまるごと味わってください。最後は、弓削島でパイヤ鈴木氏の振付けによる簡単な踊りを全員で体験していただきます。



摘み菜ウオッチングの様子

昼食は、これらを使ったレモン懐石を、農家レストラン「でべそおばちゃんのお店」で味わっていただきます。最後に島旅の感想を、海藻押し葉のはがきを使って、思いを伝えたい方に書いていただきながら、参加された方々から、私たちがステップアップするため、島ツーリズムの会の分科会を終えます。